

**第6期岡崎市歴史まちづくり協議会辞令交付式
令和7年度 第3回 岡崎市歴史まちづくり協議会 議事録**

開催日時: 令和8年2月16日(月) 10:00~12:00

開催場所: 岡崎市役所 西庁舎 701 会議室

| | | | |
|-------------|--------|---------------------------|--------|
| 出席者: | 会長 | 学識経験者 | 瀬口 哲夫 |
| | 副会長 | 学識経験者 | 杉野 丞 |
| | 委員 | 学識経験者 | 野本 欽也 |
| | // | 学識経験者 | 三浦 正幸 |
| | // | 景観整備機構 | 深田 賢之 |
| | // | 景観整備機構 | 清川 ひろみ |
| | // | 景観整備機構 | 太田 亮哉 |
| | | 岡崎市観光協会 | 初井 泰晴 |
| | // | 愛知県西三河建設事務所長 | 佐藤 正裕 |
| | // | 愛知県県民文化局文化部文化芸術課文化財室長(代理) | 水越 佑樹 |
| | // | 岡崎市経済振興部長 | 畔柳 久司 |
| | // | 岡崎市都市政策部長 | 松澤 耕 |
| | // | 岡崎市教育委員会事務局教育部長 | 浅岡 克徳 |
| | オブザーバー | 国土交通省中部地方整備局建政部都市調整官 | 山尾 耕平 |
| | 事務局 | 都市政策部まちづくり推進課長 | 中田 真也 |
| | | 教育委員会事務局社会教育課長 | 柴田 英代 |
| | | 都市政策部まちづくり推進課副課長 | 高橋 建一 |
| | | 教育委員会事務局社会教育課副課長 | 浦上 大助 |
| | | 都市政策部まちづくり推進課景観まちづくり係係長 | 中村 敦 |
| | | 教育委員会事務局社会教育課文化財係係長 | 岡山 幸男 |
| | | 教育委員会事務局社会教育課岡崎城跡係係長 | 遠藤 研吾 |
| | | 教育委員会事務局社会教育課文化財係主査 | 浦野 加穂子 |
| | | 教育委員会事務局社会教育課岡崎城跡係主事 | 久野 千秋 |
| | | 都市政策部まちづくり推進課景観まちづくり係主事 | 神尾 実沙 |
| 欠席者: | | 学識経験者 | 松本 幸正 |

次 第： 第6期岡崎市歴史まちづくり協議会辞令交付式

- 1 開会
- 2 辞令交付
- 3 岡崎市長(代理)挨拶
- 4 閉会

令和7年度第3回岡崎市歴史まちづくり協議会

- 1 開会
- 2 議題
(協議)
 - (1)会長及び副会長の選出について
 - (2)岡崎市歴史的風致維持向上計画の最終評価シート案について(諮問)
 - (3)岡崎市歴史的風致維持向上計画(第2期)案について
- 3 閉会

| | | |
|--------------|------|---|
| 配布資料： | 資料1 | 岡崎市歴史的風致維持向上計画(第2期)策定等に係るスケジュール |
| | 資料2 | 岡崎市歴史的風致維持向上計画 最終評価シート案 |
| | 資料3 | 岡崎市歴史的風致維持向上計画(第2期)案の変更等について |
| | 資料4 | 岡崎市歴史的風致維持向上計画(第2期)案 |
| | 参考資料 | 岡崎市歴史的風致維持向上計画【第1期】の最終評価(振り返り)と【第2期】の策定について |

議事内容

第6期岡崎市歴史まちづくり協議会辞令交付式

- 事務局 ご多用の中ご出席いただき、感謝する。協議会に先立ち、第6期岡崎市歴史まちづくり協議会辞令交付式を執り行う。本来であれば、委員一人ずつ辞令交付を行うべきところではあるが、委員を代表して瀬口委員に辞令を交付する。
(辞令交付)
瀬口委員以外の皆さまの辞令については、席に配布させていただいている。これをもって第6期岡崎市歴史まちづくり協議会辞令交付式を終了する。

令和7年度第3回岡崎市歴史まちづくり協議会

1 開会

- 事務局 続いて、令和7年度第3回岡崎市歴史まちづくり協議会を始める。本日は任期初めての協議会であるため、委員の皆さまの紹介をさせていただくべきところではあるが、再任のため改めての紹介を割愛する。
本日の協議会には 14 名中 13 名の委員に出席いただいております、本協議会の運営規程第3条第3項に定める定足数を満たしていることをご報告申し上げます。

2 議題

(1)会長及び副会長の選出について(協議)

- 事務局 会長および副会長の職については、岡崎市歴史まちづくり協議会条例第4条第1項の規定により、委員の互選によって定めることとなっている。また、岡崎市歴史まちづくり協議会運営規程第2条の規定により、市および県職員については、会長および副会長に選出しないこととなっている。それではまず、会長職の選出を行う。ご推薦される方がいれば、お願いする。
- 委員 景観審議会会長及び岡崎城跡整備委員会会長でおられる瀬口委員に会長をお願いしたい。
- 事務局 ただいま瀬口委員を推薦する提案があった。本協議会の会長を瀬口委員にお願いすることに異議はあるか。
- 委員 (異議なし)
(瀬口委員の会長席への移動および就任挨拶)

※以降、瀬口委員を会長と記載する。

- 事務局 続いて、副会長の選出を行う。副会長の選出について意見がある方はいるか。
- 委員 副会長の選出について、会長に一任したい。
- 会長 私の指名により副会長を選出したい。それでは、文化財保護審議会会長でおられる杉野委員に副会長をお願いしたいが、いかがか。
- 委員 (異議なし)
- 会長 当協議会運営規程第6条の規定により、議事録署名者を2名指名させていただく。本日は太田委員と舛井委員をお願いする。議事に入る前に、本会議の公開について、事務局から説明願う。
- 事務局 本会議は、当協議会運営規程第5条第1項の規定により、公開する。本日の傍聴希望者はいない。

(2)岡崎市歴史的風致維持向上計画の最終評価シート案について(協議)

(3)岡崎市歴史的風致維持向上計画(第2期)案について(諮問)

- 会長 本日説明する2つの議題は相互に関係があるため、事務局から一括して説明をお願いします。
- 事務局 (議題の説明)
- 会長 ご意見・ご質問があればお願いしたい。
- 梶井委員 ①資料3・p8パブリックコメント No.1 の市の考え方として「他都市との連携などを踏まえ」とある。また、第2期計画のコンセプトとして歴史を活かした観光振興が挙げられると思う。他都市との連携や観光施策との連携について、第2期計画にどのように反映されているか。
②歴まちの改定にあたって、観光基本計画も改定する予定はあるか。
- 事務局 ①他都市との連携については、中部地方整備局管内の18の認定都市との連携やサミット開催等を通じて岡崎の歴史の普及・啓発を図る。観光振興については、事業として資料4・p360の「観光受入促進事業」等に位置付けている。
②観光基本計画改定の際には、連携して推進したい。
- 梶井委員 ①市民意見にある「他都市」とは18認定都市だけではなく、徳川・松平家ゆかりの都市を指していると思われるため、その点も考慮してほしい。歴史文化資産を活かした観光振興等については、資料4・p360を含む第6章だけでなく、計画全体の中で随所に現れるようにしてほしい。
- 会長 ①パブリックコメント(ゆかりの都市との交流等)について、既に実施している事業があれば紹介するなど、市民の意見を計画や事業に反映させてほしい。
庁内の連絡協議会等において、計画の進捗管理や連携を行う際、具体的な「打合せ項目(議題)」を設定し、各部局間で連携すべき項目や課題を明確にした上で進めてほしい。
- 太田委員 資料3・p8のパブリックコメントには「他都市との連携」や「公共投資の波及効果」など、これからの課題として重要な意見があるが、資料2・p21の最終評価(住民評価・協議会意見シート)にはこれらが記載されていない。これらの意見も追記すべきではないか。
- 事務局 要約して記載している関係で省略されてしまっているため、協議会におけるコメントも含めて追記する。
- 深田委員 商工会議所では、全国家康公ネットワークを設立し、浜松市や静岡市などと連携して事業が行われている。第2期計画の推進にあたっては、こうした民間の動きを支援してほしい。
- 会長 第2期計画の基本方針は市民の参加や関わりであるため、既存の民間活動との連携も課題として検討してほしい。
- 野本委員 ①現状、地元住民の伝承力などが高まっていないなかで、他都市と連携を進めたとしても、岡崎の良さを知らせることにはつながらないのではないか。基本方針にある「参加する」が今後重要となってくることに関連して、瀧山寺鬼祭りについては、報告書作成や映像記録などを実施したことにより、地元住民のエネルギーが高まった。このように行政と地元が連携してネットワークを構築し、祭礼行事等について考える機会をつくっていかねばならない。コミュニティの縮小が進むなかで、祭礼行事等を守りつなぎ、それらをアピールしていくための具体的な手立てを考える必要があるのではないか。
②資料4・p117のエ.六所神社絵馬群の記述において、「自分の解法を発表する役割」という文言だけでは分かりにくいので、「算額(関孝和の和算)」等の具体的な言葉を追記してほしい。
③資料4・p175のオ.矢作神社の祭礼に掲載されている写真(図 2-2-58)について、山車が実際に動いている様子が分かるものに差し替えてほしい。
- 事務局 ①ご指摘のとおり、「参加する」方針については、普及啓発や意識向上が重要であるため、報告書の事例などをはじめとした具体的な手立ても検討する。
- 会長 ①具体的な手立てを各行事で考えるのは大変であるため、瀧山寺の事例をコラムとして

記載してはどうか。地元の機運醸成の成功事例を紹介することで、適切な関わり方を考える際の参考となる。具体的な手立てを意識して記載してほしい。
③ページ内に空白があるため、写真を複数枚掲載してはどうか。

- 杉野委員 第1章のような学術的・客観的な記述部分では「家康公」という敬称は避け、第2章の「家康公生誕の地」からは関連する市民の活動や歴史についての記載があることから、「公」を付けるなど、使い分けが必要ではないか。また、その「公」を付した理由(条例制定等)を第2章の冒頭で説明しておくべきである。
- 事務局 顕彰条例や行事名の変更等の経緯もあるため、原則として計画全編をとおして「公」を付した形で申請したいと考えており、その理由や背景について、はじめに説明を加える。
- 粕井委員 ①資料2・p5の歴史的建造物の保存・活用の推進に関する最終評価(方針別シート)について、課題として「歴史的建造物の空き家の増加や継続的な維持管理等、様々な課題が残されている。」に対し、対応策が「先端技術の活用や民間活力の導入」のみでは不十分に感じる。より実効性のある対応を記載すべきではないか。
②資料2・p22 の最終評価(全体の課題・対応シート)と各方針別シートの記載内容(表現)に違いがみられるため、整合させるべきではないか。
- 事務局 ①歴史的建造物の空き家対策について、関係部署と連携して進めている点を追記する。
②表現が統一されるよう記載内容を修正する。
- 会長 ①資料2・p5では、「岡崎城跡菅生川端石垣の復原～」とあるが、復原した長さを追記してほしい。
②資料4・p351 の岡崎城跡(岡崎城公園)整備事業の事業概要には「復元／復原」ではなく、「修復」という言葉が使われているが、意図はあるか。
- 事務局 ②第1期計画で整備済みの岡崎城跡菅生川端石垣以外の石垣を復元する計画はないため、「修復」という言葉を用いている。
- 会長 ②石垣については、長い年月をかけてでも計画的に「復元」を目指すという気概を持ち、愛知県とも粘り強く協議してほしい。
- 佐藤委員 ②堤防等との兼ね合いはあるが、市の熱意次第であり、相談・協議は受け付けられる。
- 会長 ②「修復」のみではなく、「復元」を追記できないか。
- 事務局 ②発掘調査等を進めるなかで、復元できる箇所が出てくる可能性もあるため、「復元」の言葉を使用することに特段問題はないと考える。
- 野本委員 ①岡崎城公園について、将来的にどのような姿にしたいのかというビジョン(ゴール)をもち、現状の進捗状況を市民に分かりやすく提示する必要がある。その際、発掘調査報告書等をデジタル化し、アクセスできるようにしてはどうか。
②足助街道や松平往還についても、家康公が通った道としての位置づけを再確認していく必要があるのではないか。
- 事務局 ①岡崎城跡整備基本計画に基づき整備を進めている。計画改定時には、岡崎城の将来方針もあらためて検討する予定。発掘調査報告書等のデジタル化・公開についても、今後進めていきたい。
- 会長 岡崎城周辺には岡崎城跡内、総曲輪内、二十七曲り沿いなどの区分でそれぞれに空間的な特徴がある。それぞれの空間における建築物の高さ制限の設定について、都市の将来像を踏まえた方針を持ち、都市計画課等と連携して検討を進めてほしい。
- 事務局 歴史的な視点からみると、建築物の高さの規制は必要であると考え。一方で、経済発展という視点もあるため、企画部局等と当然連携をして、引き続き議論をしていきたい。
- 佐藤委員 ①資料4・p47 の図 1-3-23 について、当時まだ存在しないはずの現在の矢作川が描かれているのは誤解を招くため、当時の矢作川の流路に修正すべきではないか。
②資料4・p63 の図 1-3-40 の背景地図が、明治期のものに見える。戦災の被害を実感できるよう、昭和 20 年頃の地図に差し替えてほしい。
- 事務局 ①現在の矢作川の流路とどちらがわかりやすいか検討した上で修正の可否を決定する。

- 会長 ①当時の流路を破線にするなど現在の流路と異なることが分かるように修正してはどうか。
②もし昭和20年頃の地図がないのであれば、出典を明記するにとどめてはどうか。
- 畔柳委員 前回出た内容について、丁寧に対応・修正追記している印象を受けた。徳川家康公顕彰条例が定められたことから、「徳川家康」の表記の仕方について使い分けが大事である。どのような意図をもって使用しているかがわかるように説明してほしい。
- 松澤委員 財政状況が厳しい中、第2期はソフト事業に偏らざるを得ない面もあるが、委員の皆さまのご協力により計画策定にたどり着けた。部局間の横の連携を深め、50年先のまちなみを見据えて地道に取り組んでいきたい。
- 浅岡委員 教育委員会として、今後も文化財の指定や岡崎城公園の調査等を進めていく。点在する歴史的資産を連携させ、市全体で歴史的風致が醸成されることを期待している。
- 水越委員
(文化財室長代理) 文化財はまちづくりの核となるものであり、他部局と連携したうえで、ビジョンをもって進めていただきたい。
- 山尾都市調整官 計画を計画で終わらせないためには、これからの取組が非常に重要であるため、国として全力で支援する。
- 会長 議題3の第2期案(資料4)については諮問事項である。様々な意見が出たが、それらの修正を行うことを前提に、原案のとおり同意し、その旨を答申することに異議はないか。
- 委員 (異議なし)
- 会長 よって、原案を修正した上で計画の認定申請をする旨、答申することに決定する。

3 閉会

- 会長 それでは本日予定していた議題が終了した。事務局からその他連絡事項等があればお願いする。
- 事務局 本日は長時間にわたりご議論いただき感謝する。今後の予定として、2月中に計画を確定させ、3月頃に国の認定を受ける予定である。第2期計画は令和8年4月1日より開始する。次回の協議会は令和8年3月23日(月)14時を予定している。
- 会長 以上をもって、令和7年度第3回岡崎市歴史まちづくり協議会を閉会する。会議では活発な意見をいただきながら、円滑な議事進行にご協力を賜り、深く感謝する。

以上